

府中市ごみ組成分析委託
調査結果報告書
(平成28年度)

平成 28 年 12 月

目次

1. 調査件名	1
2. 調査目的	1
3. 調査概要	1
3-1 調査実施場所	1
3-2 調査地域及び日程	1
3-3 調査手順	2
4. 調査結果	4
4-1 燃やすごみ	4
1) 湿ベース	4
2) 乾ベース	5
4-2 燃やさないごみ	8
4-3 容器包装プラスチック類	9
5. 過去年度調査との比較	10
5-1 燃やすごみ	10
5-2 燃やさないごみ	11
5-3 容器包装プラスチック類	12
6. まとめ	13
6-1 燃やすごみ	13
6-2 燃やさないごみ	13
6-3 容器包装プラスチック類	13

ごみ組成分析調査

1. 調査件名

ごみ組成分析委託

2. 調査目的

府中市のごみを指定収集袋の種別ごと（燃やすごみ・燃やさないごみ・容器包装プラスチック類の3種類）にどういった内容のごみ・資源が入っているか組成分析を行い、改善検討を要する事項を洗い出し、今以上にごみの適正な排出の促進に資することを目的とした。

3. 調査概要

3-1 調査実施場所

府中市リサイクルプラザ（府中市四谷 6-58）

3-2 調査地域及び日程

調査対象地区は市内の戸建住宅地区、集合住宅地区及び事業者地区の3地区とした。これらの地区から「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「容器包装プラスチック類」について組成分析を行った。

調査地区及び日程を表3-1に示す。

表3-1 調査地区及び調査日程

調査地区 \ 項目	燃やすごみ	燃やさないごみ	容器包装 プラスチック類
是政3丁目（家庭系・戸建）	11月10日（木）	11月15日（火）	11月4日（金）
緑町1丁目（家庭系・集合）	11月7日（月）	11月4日（金）	11月15日（火）
宮西町1～4丁目（事業系）	11月15日（火）	11月10日（木）	11月7日（月）

3-3 調査手順

調査手順を図3-1に示す。

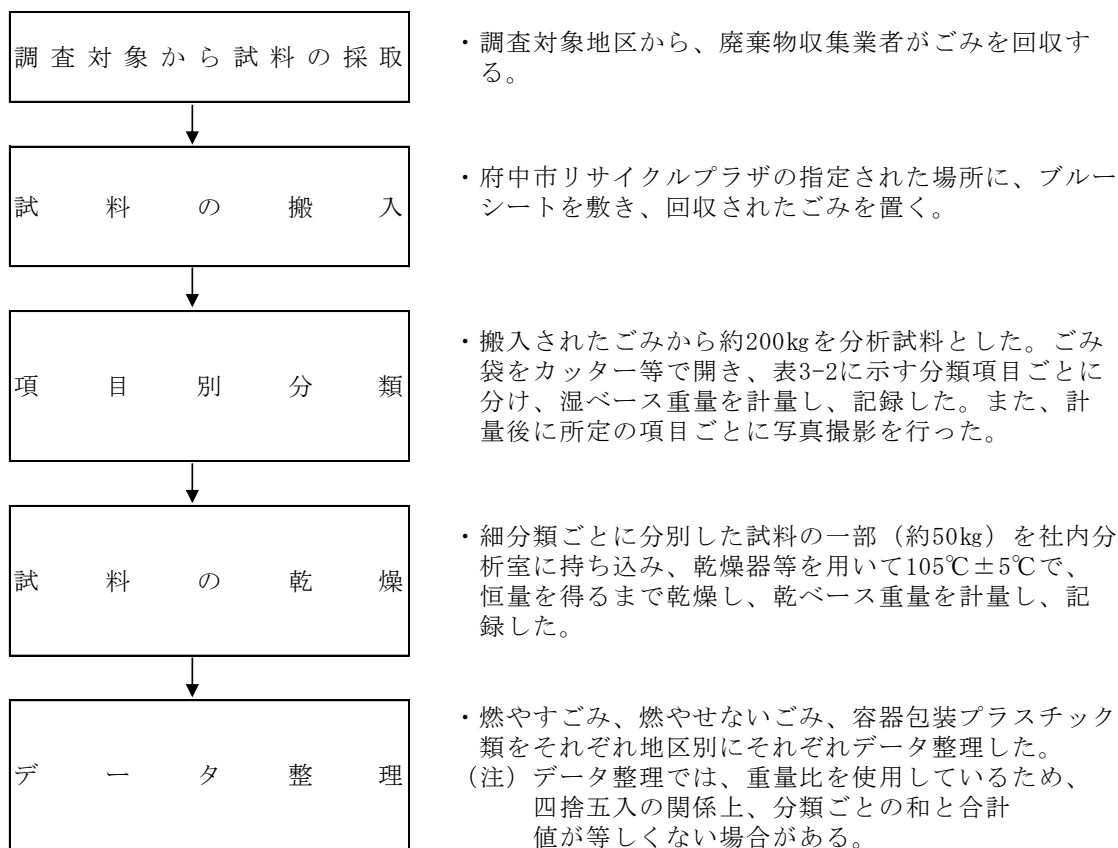


図3-1 調査手順

表 3-2 分類項目

大分類	中分類	小分類	細分類	No.	分別
資源	びん類			1	資源
	缶類	飲食用アルミ缶		2	資源
		飲食用スチール缶		3	資源
		その他アルミ缶		4	燃やさないごみ
		その他スチール缶		5	燃やさないごみ
	紙類	新聞紙		6	資源
		雑誌		7	資源
		シュレッダー紙		8	資源
		ダンボール		9	資源
		紙パック		10	資源
		その他雑紙		11	資源
	繊維			12	資源
	プラスチック類	容器包装プラスチック	発泡トレイ	13	容器包装プラスチック
			発泡スチロール類	14	容器包装プラスチック
			プラスチックボトル	15	容器包装プラスチック
			硬質プラスチック	16	容器包装プラスチック
			フィルム類(軟質)	17	容器包装プラスチック
			レジ袋	18	容器包装プラスチック
		容器包装プラスチック以外	19	燃やさないごみ	
		ペットボトル	20	資源	
不燃ごみ	金属		21	燃やさないごみ	
	ゴム・皮革		22	燃やさないごみ	
	ガラス		23	燃やさないごみ	
	陶磁器		24	燃やさないごみ	
	土砂		25	燃やさないごみ	
	その他不燃物		26	燃やさないごみ	
	危険物(スプレー缶、ライター)		27	危険ごみ	
	有害物(乾電池、蛍光灯、体温計)		28	有害ごみ	
可燃ごみ	厨芥		29	燃やすごみ	
	剪定枝葉		30	粗大ごみ(資源)	
	木・草類		31	燃やすごみ	
	紙おむつ		32	燃やすごみ	
	その他可燃物		33	燃やすごみ	
粗大ごみ(概ね最長の1辺が40cm以上の物)				34	粗大ごみ

4. 調査結果

4-1 燃やすごみ

1) 湿ベース

燃やすごみの組成分析結果を表4-1及び図4-1に示す。

3地区平均では、厨芥が51.79%と最も高い値となっている。燃やすごみの排出として不適物となるものは、不燃ごみが0.86%、資源が25.09%となっている。

また、地区別では、緑町1丁目及び宮西町1～4丁目において厨芥類が50%以上と多く排出されていた。どの地区も資源物の混入が20%以上となっている。

表4-1 燃やすごみの組成分析結果

項目		地区			
		是政3丁目 重量比 (%)	緑町1丁目 重量比 (%)	宮西町1～4丁目 重量比 (%)	3地区平均 重量比 (%)
可燃ごみ	厨芥	45.95	56.38	53.50	51.79
	剪定枝葉	4.15	—	0.20	1.69
	木・草類	1.14	1.44	0.84	1.24
	紙おむつ	7.64	4.20	—	4.96
	その他可燃物	12.59	15.01	17.25	14.37
不燃ごみ合計		1.17	0.61	0.79	0.86
粗大ごみ		—	—	—	—
資源合計		27.35	22.33	27.42	25.09
合計		100.00	100.00	100.00	100.00

注)「3地区平均」は各地区の合計重量の重量比とする。

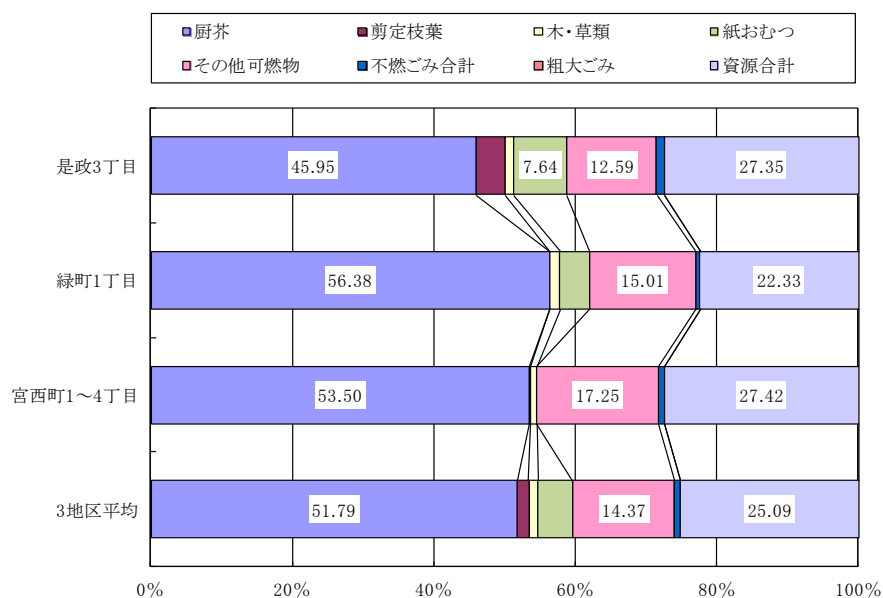


図4-1 燃やすごみの組成分析結果

2) 乾ベース

(1) 3地区平均

湿ベースと乾ベースの比較を表4-2及び図4-2に示す。

湿ベースでは、厨芥が51.79%、資源が25.09%、その他可燃物が14.37%の順であったが、乾ベースでは、資源が47.17%、その他可燃物が24.41%、厨芥が18.44%の順となっており、乾燥により水分の多い厨芥は大きく減少した。

表4-2 乾燥後調査結果

分類項目		3地区平均	
		湿ベース	乾ベース
		重量比 (%)	重量比 (%)
可燃ごみ	厨芥	51.79	18.44
	剪定枝葉	1.69	1.14
	木・草類	1.24	1.59
	紙おむつ	4.96	5.63
	その他可燃物	14.37	24.41
不燃ごみ合計		0.86	1.58
粗大ごみ		—	—
資源合計		25.09	47.17
合計		100.00	100.00

注)「3地区平均」は各地区の合計重量の重量比とする。

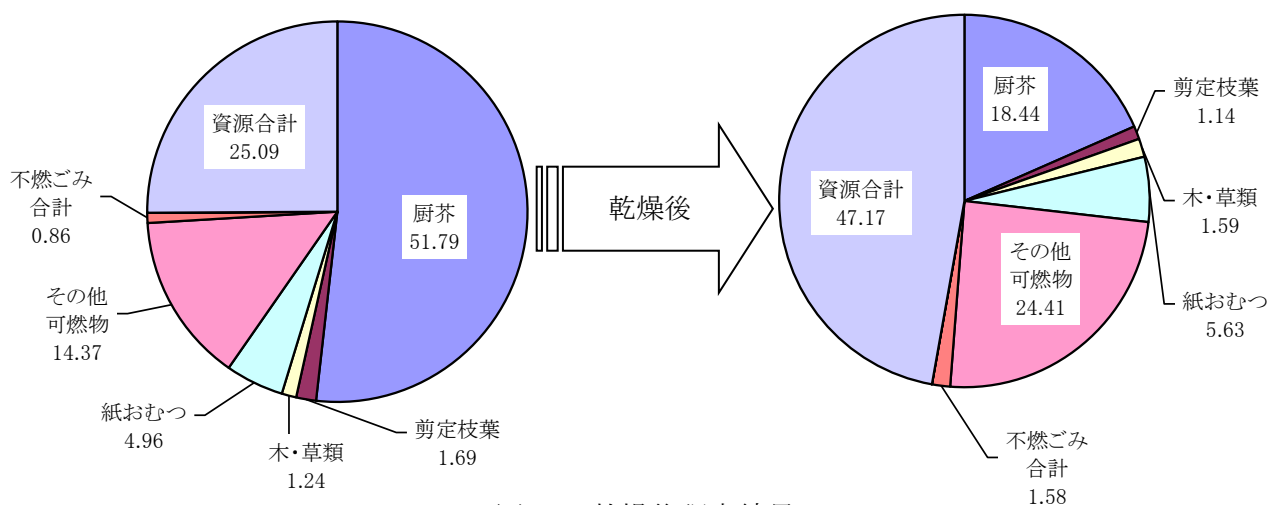


図4-2 乾燥後調査結果

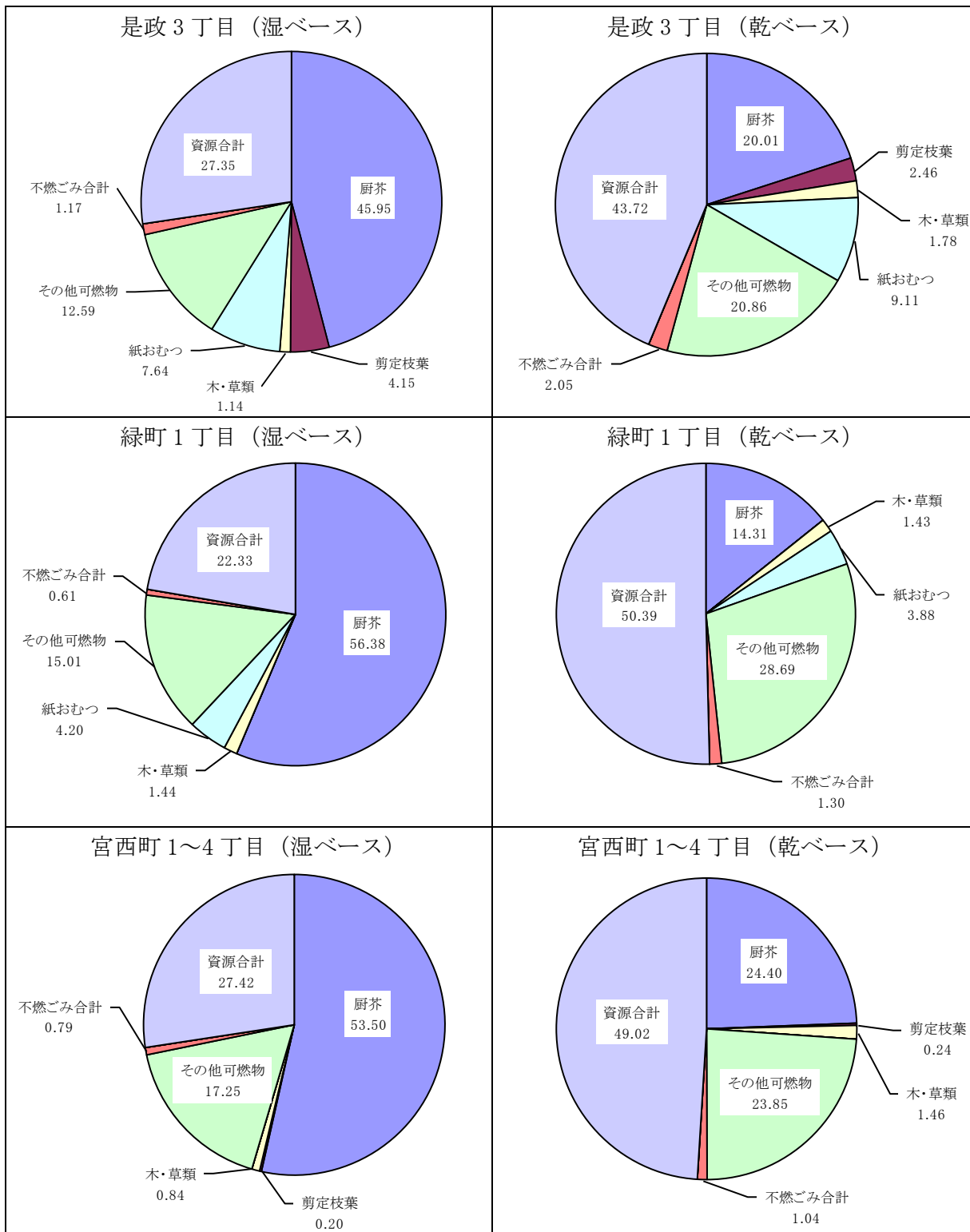


図4-3 地区別乾燥後調査結果

4-2 燃やさないごみ

燃やさないごみの組成分析結果を表4-4及び図4-4に示す。

3地区平均では、その他不燃物が39.38%と最も高い値となっている。燃やさないごみの排出として不適物となるものは、可燃ごみが4.38%、粗大ごみが0.56%、資源が18.58%となっている。

また、地区別では、是政3丁目ではその他不燃物が45.74%と他地区と比べて高い値となっている。宮西町1～4丁目の資源物の混入割合は60.16%と他地区と比べて高い値となっている。

表4-4 燃やさないごみの組成分析結果

項目		地区			
		是政3丁目 重量比 (%)	緑町1丁目 重量比 (%)	宮西町1～4丁目 重量比 (%)	3地区平均 重量比 (%)
不燃ごみ	金属	8.22	9.22	12.16	8.91
	ゴム・皮革	19.88	22.54	4.62	19.79
	ガラス	3.95	4.20	0.37	3.78
	陶磁器	3.11	6.51	3.62	4.49
	土砂	—	—	—	—
	その他不燃物	45.74	35.08	17.19	39.38
	危険物(スプレー缶、ライター)	0.02	0.13	—	0.07
	有害物(乾電池、蛍光灯、体温計)	0.02	0.11	—	0.06
可燃ごみ合計		2.53	7.33	1.87	4.38
粗大ごみ		—	1.41	—	0.56
資源合計		16.54	13.48	60.16	18.58
合計		100.00	100.00	100.00	100.00

注)「3地区平均」は各地区の合計重量の重量比とする。

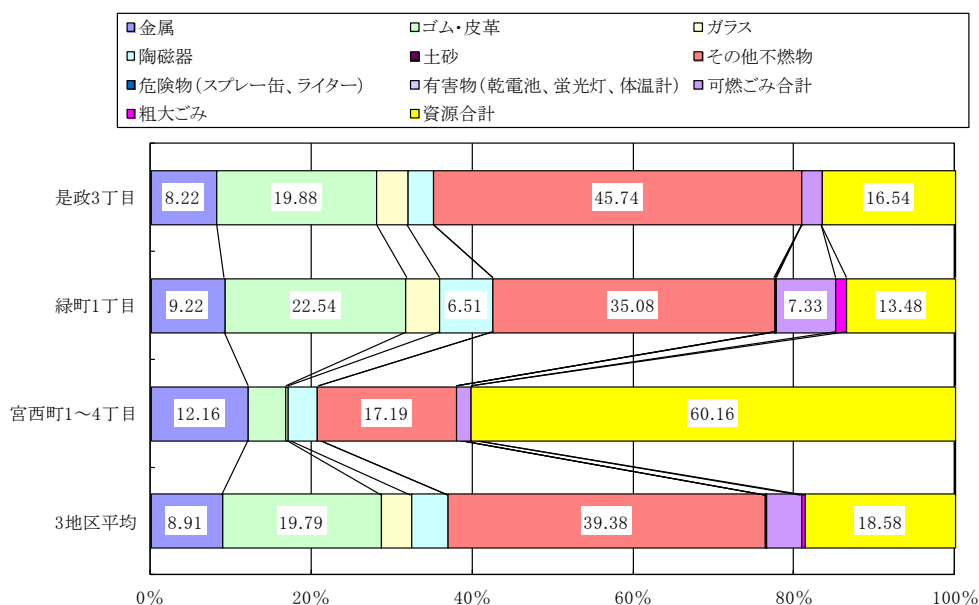


図4-4 燃やさないごみの組成分析結果

4-3 容器包装プラスチック類

容器包装プラスチック類の組成分析結果を表4-5及び図4-5に示す。

3地区平均では、フィルム類(軟質)が46.19%と最も高い値となっている。容器包装プラスチックの排出として不適物となるものは、可燃ごみが2.38%、不燃ごみが2.93%、容器包装プラスチック以外のその他資源が1.16%となっている。

また、地区別では、宮西町1~4丁目ではフィルム類(軟質)が60.48%であり他地区と比べて高い値となっている。

表4-5 容器包装プラスチック類の組成分析結果

項目				地区			
				是政3丁目 重量比 (%)	緑町1丁目 重量比 (%)	宮西町1~4丁目 重量比 (%)	3地区平均 重量比 (%)
資源	プラスチック類	容器包装 プラスチック	発泡トレイ	5.69	4.34	1.97	5.05
			発泡スチロール類	0.34	0.59	0.39	0.42
			プラスチックボトル	12.13	9.63	10.26	11.20
			硬質プラスチック	26.00	26.51	12.68	25.44
			フィルム類(軟質)	46.05	44.11	60.48	46.19
			レジ袋	5.03	5.30	6.71	5.21
その他資源合計				0.84	1.69	1.19	1.16
可燃ごみ合計				0.76	5.46	2.14	2.38
不燃ごみ合計				3.14	2.36	4.17	2.93
粗大ごみ				—	—	—	—
合計				100.00	100.00	100.00	100.00

注)「3地区平均」は各地区の合計重量の重量比とする。

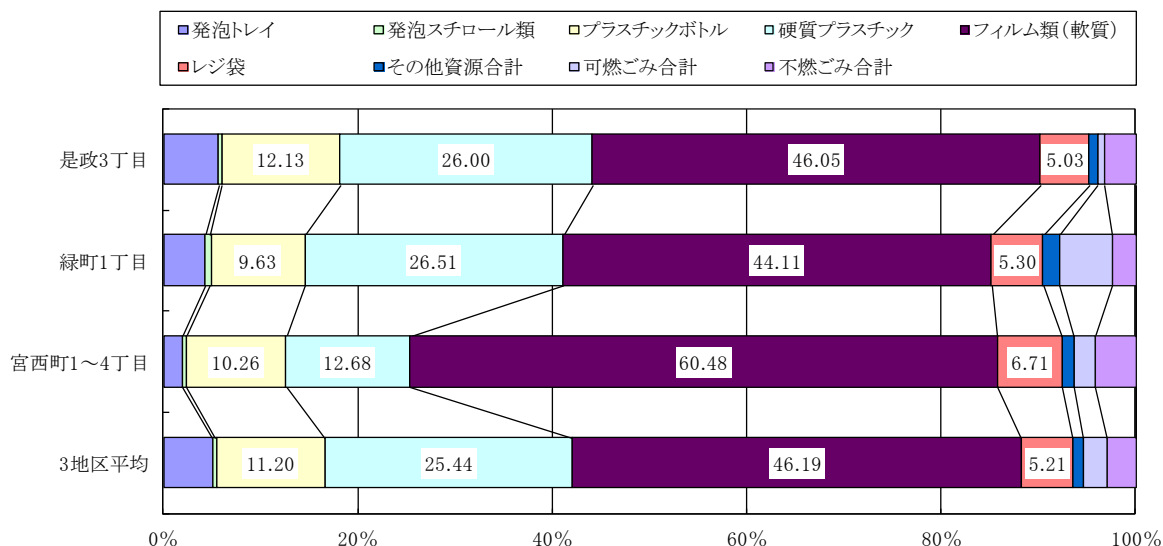


図4-5 容器包装プラスチック類の組成分析結果

5. 過去年度調査との比較

平成26年度調査から今年度調査にかけて3年間分の調査結果の比較を行った。
 なお、比較は燃やすごみ、燃やさないごみ及び容器包装プラスチック類で行った。

5-1 燃やすごみ

燃やすごみの経年変化結果を表5-1及び図5-1に示す。

燃やすごみでは、資源物の混入割合が増加傾向となっており、平成28年度では25.09%と最も高い値となっている。

表5-1 燃やすごみの経年変化結果

項目		地区		
		平成26年度 重量比 (%)	平成27年度 重量比 (%)	平成28年度 重量比 (%)
可燃ごみ	厨芥	48.60	55.15	51.79
	剪定枝葉	0.05	0.08	1.69
	木・草類	6.97	4.86	1.24
	紙おむつ	5.89	7.07	4.96
	その他可燃物	21.73	12.50	14.37
不燃ごみ合計		1.11	0.68	0.86
粗大ごみ		—	0.45	—
資源合計		15.65	19.22	25.09
合計		100.00	100.00	100.00

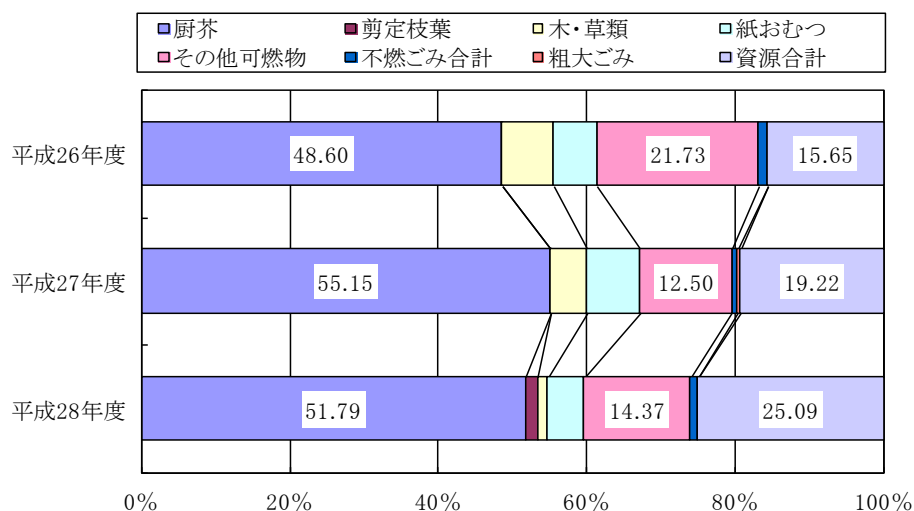


図5-1 燃やすごみの経年変化結果

5-2 燃やさないごみ

燃やさないごみの経年変化結果を表5-2及び図5-2に示す。

燃やさないごみでは、平成26年度からゴム・皮革が増加傾向となっている。

表5-2 燃やさないごみの経年変化結果

項目		地区		
		平成26年度 重量比 (%)	平成27年度 重量比 (%)	平成28年度 重量比 (%)
不燃ごみ	金属	7.02	11.38	8.91
	ゴム・皮革	9.00	17.69	19.79
	ガラス	2.68	1.80	3.78
	陶磁器	5.56	3.98	4.49
	土砂	-	0.07	-
	その他不燃物	47.58	39.96	39.38
	危険物(スプレー缶、ライター)	0.41	0.18	0.07
	有害物(乾電池、蛍光灯、体温計)	0.20	0.14	0.06
可燃ごみ合計		7.13	6.62	4.38
粗大ごみ		3.02	1.11	0.56
資源合計		17.40	17.08	18.58
合計		100.00	100.00	100.00

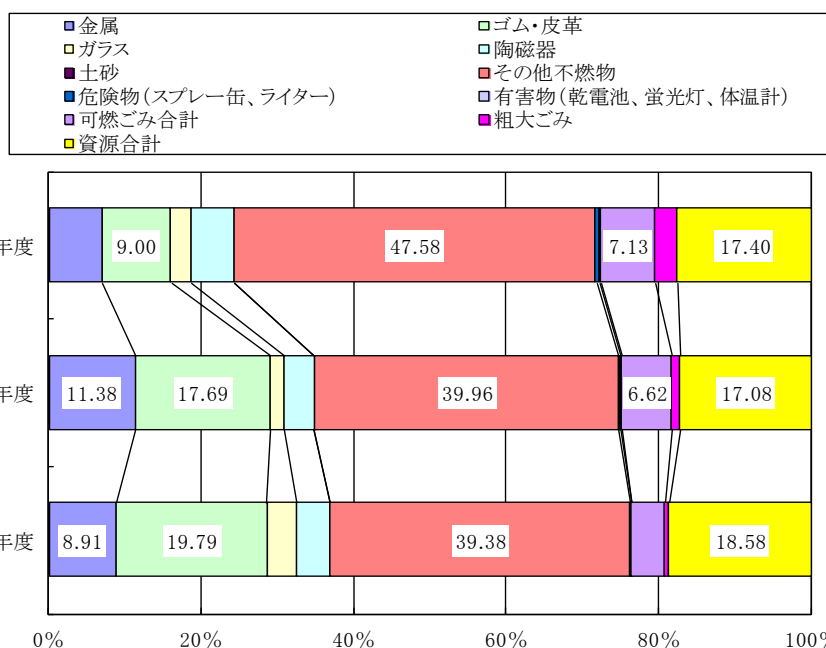


図5-2 燃やさないごみの経年変化結果

5-3 容器包装プラスチック類

容器包装プラスチック類の経年変化結果を表5-3及び図5-3に示す。

容器包装プラスチック類では、フィルム類(軟質)が平成26年度から減少傾向となっている。また、容器包装プラスチックの適正排出割合は、平成26年度から85%以上となっている。

表5-3 容器包装プラスチック類の経年変化結果

項目			地区			
			平成26年度 重量比 (%)	平成27年度 重量比 (%)	平成28年度 重量比 (%)	
資源	プラスチック類	容器包装 プラスチック	発泡トレイ	1.93	3.00	5.05
			発泡スチロール類	0.94	1.20	0.42
			プラスチックボトル	9.01	8.06	11.20
			硬質プラスチック	24.75	23.40	25.44
			フィルム類(軟質)	48.28	47.33	46.19
			レジ袋	5.50	5.08	5.21
			その他資源合計	1.75	2.30	1.16
可燃ごみ合計			2.65	4.26	2.38	
不燃ごみ合計			5.20	5.36	2.93	
粗大ごみ			—	—	—	
合計			100.00	100.00	100.00	

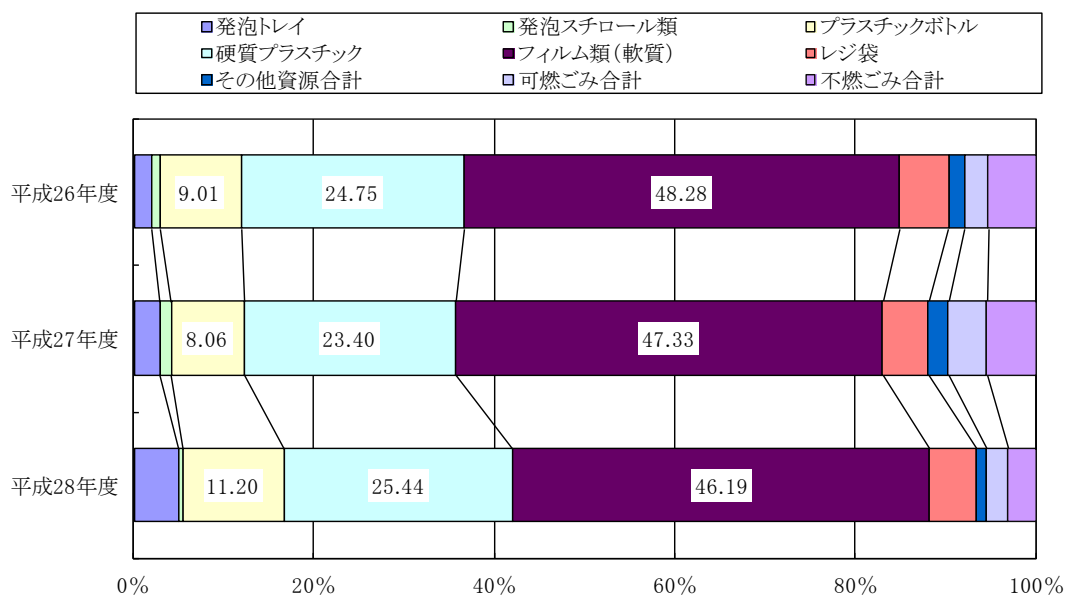


図5-3 容器包装プラスチック類の経年変化結果

6. まとめ

6-1 燃やすごみ

燃やすごみの調査結果では、厨芥の割合が最も高い値となっており、地区によっては50%以上を超える割合となっている。厨芥類は水分を多く含んでいるため、水きりによる排出の徹底を行うことで、ごみの減量に大きく効果が表れると考えられる。また、厨芥類削減の一つの手法として、国や東京都でも取り組みが進んでいる食品ロスの削減による厨芥類の発生抑制も効果的と考えられる。

本調査では、厨芥類は「厨芥」という項目として、未利用食品等も含めていることから、今後は、新たな分類項目として、「未利用食品」、「食べ残し」、「調理くず」等の厨芥類の細目となる新たな分類項目を設けることにより、食品ロスに関する市の現状を明らかにすることが必要とされる。

6-2 燃やさないごみ

燃やさないごみの調査結果では、3地区平均でその他不燃物が39.38%と高い割合となっている。地区別にみると地区によりばらつきがみられ、宮西町1~4丁目では燃やさないごみ中に含まれる資源の排出割合が60.16%と高くなっている。宮西町1~4丁目は市の収集に排出している事業系ごみを対象としていることから、ごみ収集の際に排出指導の実施をすることにより分別協力率の向上効果を得られることが考えられる。

6-3 容器包装プラスチック類

容器包装プラスチック類の調査結果では、容器包装プラスチックの排出が全ての地区で85%以上となっており、分別協力率は高くなっている。容器包装プラスチックの内訳では、フィルム類(軟質)、硬質プラスチック、プラスチックボトルの順に多く排出されている。